

# 令和元年度 施策目標に関する市民意識調査報告書

## (概要版)

令和元年9月  
まちづくり政策局

### 1. 調査概要

調査対象：仙台市に居住する満18歳以上の男女6,000人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査方法：無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

調査期間：令和元年5月17日～令和元年6月10日

調査項目：仙台における住みやすさ、基本計画に基づく施策（8分野47項目）の評価、  
力をいれるべき施策、各区の魅力、居住区・地域の将来像、地域をより良くするために  
自分ができそうなこと など

有効回収数(率)：2,018人（33.6%）

### 2. 調査結果

#### (1) 基本計画に基づく施策の進捗状況

##### ①「評価する+どちらかといえば評価する」（以下「評価する(計)」）の割合が高い上位5項目

- ・1位は、昨年度と同様に、「仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」であり、8割を超える高い評価である。
- ・2位の「医療サービスや救急医療体制の充実」（72.0%）は、昨年度の5位から大きく順位を上げている（4.6ポイント増）。
- ・3位の「プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり」（71.9%）は、昨年度と同位だが、3.8ポイント増となっている。
- ・4位の「市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」（69.5%）は、昨年度の3位から順位が下がったものの、1.4ポイント増で高い評価である。
- ・5位の「ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり」（68.7%）は、昨年度の2位から順位を下げた（-0.5ポイント）ものの引き続き高い水準である。

(カッコ内は前年度調査との差分)

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
1位	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	81.8% (0.0pt)	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	81.8% (-1.0pt)	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	82.8%
2位	医療サービスや救急医療体制の充実	72.0% (4.6pt)	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	69.2% (-2.5pt)	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	73.6%
3位	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	71.9% (3.8pt)	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり(同率3位)	68.1% (2.6pt)	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	71.7%
4位	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	69.5% (1.4pt)	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり(同率3位)	68.1% (-5.5pt)	医療サービスや救急医療体制の充実	67.3%
5位	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	68.7% (-0.5pt)	医療サービスや救急医療体制の充実	67.4% (0.1pt)	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	65.8%

②「評価しない+どちらかといえば評価しない」（以下「評価しない（計）」）の割合が高い上位5項目

- ・1位は、昨年度と同様に、「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（47.6%）であり、昨年度に比べ0.4ポイント増と、引き続き厳しい評価となっている。
- ・2位は、「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（34.5%）だが、「評価する（計）」では53.9%（19位）（昨年度より1.6ポイント増）と、評価が分かれるところである。
- ・3位の「働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進」（29.9%）は、昨年度と同位だが、1.5ポイント減となっている。
- ・4位の「賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり」（29.7%）は、昨年度の5位から順位を上げている。
- ・5位の「子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実」（28.6%）は、昨年度と同水準である。

（カッコ内は前年度調査との差分）

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
1位	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	47.6% (0.4pt)	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	47.2% (-12.6pt)	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	59.8%
2位	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	34.5% (-1.8pt)	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	36.3% (-0.2pt)	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	36.5%
3位	働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	29.9% (-1.5pt)	働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	31.4% (-2.1pt)	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	34.8%
4位	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	29.7% (1.6pt)	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	28.5% (-6.3pt)	働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	33.5%
5位	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	28.6% (0.1pt)	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	28.1% (-2.4pt)	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	30.5%

③「今後、特に力を入れていくべきと思う施策」の上位5項目

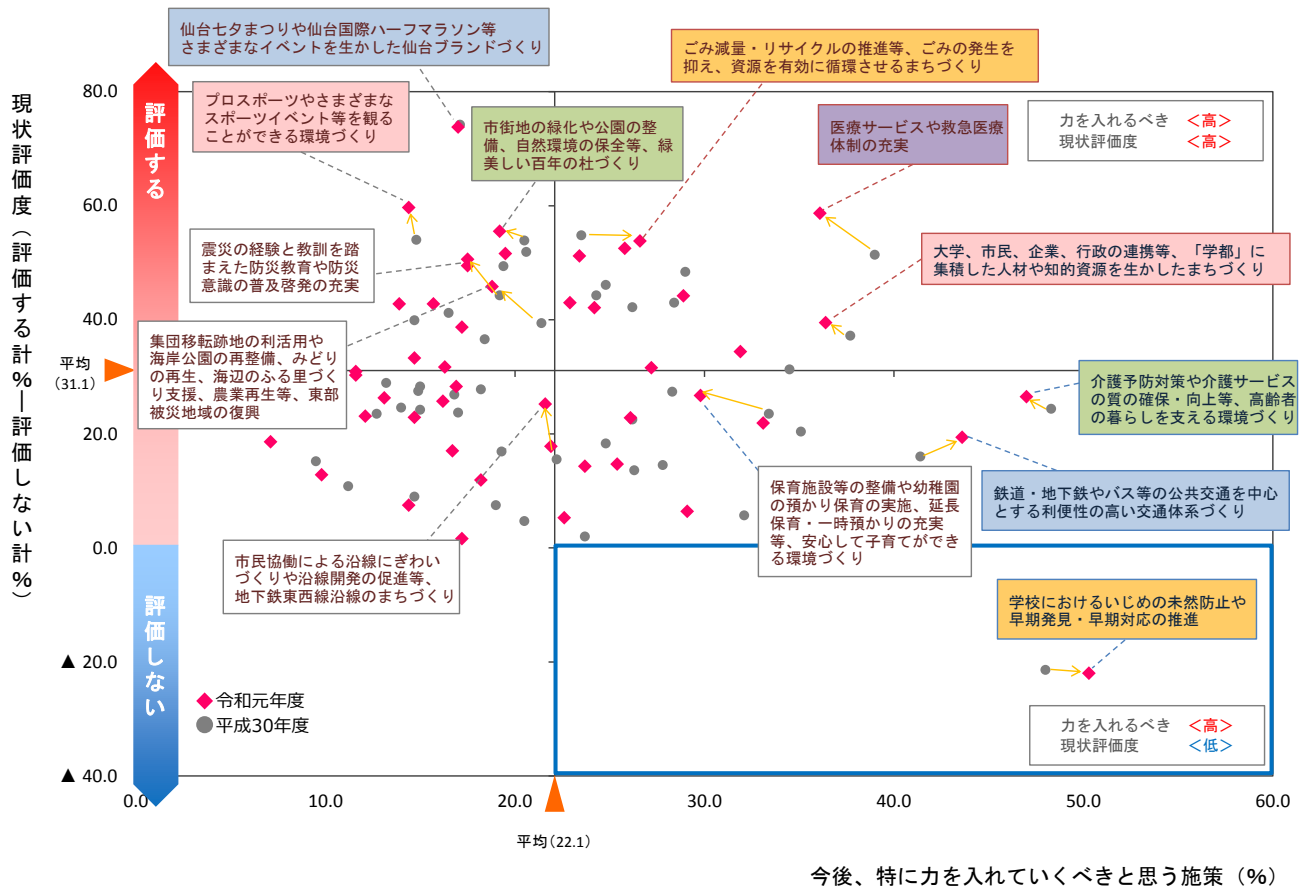
- ・1位の「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（50.3%）は、昨年度から2.3ポイント増で、2位から順位を上げている。「評価しない（計）」においても1位である。
- ・2位の「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」（47.0%）は、昨年度の1位から順位を下げた（-1.3ポイント）ものの引き続き高い水準である。
- ・3位の「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（43.6%）は、昨年度と同位だが、2.2ポイント増となっている。「評価しない（計）」においても2位である。
- ・4位の「大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」（36.4%）は、昨年度5位から今年度4位に順位が上がった。
- ・5位の「医療サービスや救急医療体制の充実」（36.1%）は、「評価する（計）」が72.0%と高い評価となっているため、現状評価は高いが引き続き力を入れていくべき施策といえる。

(カッコ内は前年度調査との差分)

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
1位	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	50.3% (2.3pt)	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	48.3% (-0.9pt)	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	54.1%
2位	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	47.0% (-1.3pt)	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	48.0% (-6.1pt)	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	49.2%
3位	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	43.6% (2.2pt)	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4% (0.0pt)	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4%
4位	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	36.4% (-1.3pt)	医療サービスや救急医療体制の充実	39.0% (2.8pt)	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	36.3%
5位	医療サービスや救急医療体制の充実	36.1% (-2.9pt)	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	37.7% (1.4pt)	医療サービスや救急医療体制の充実	36.2%

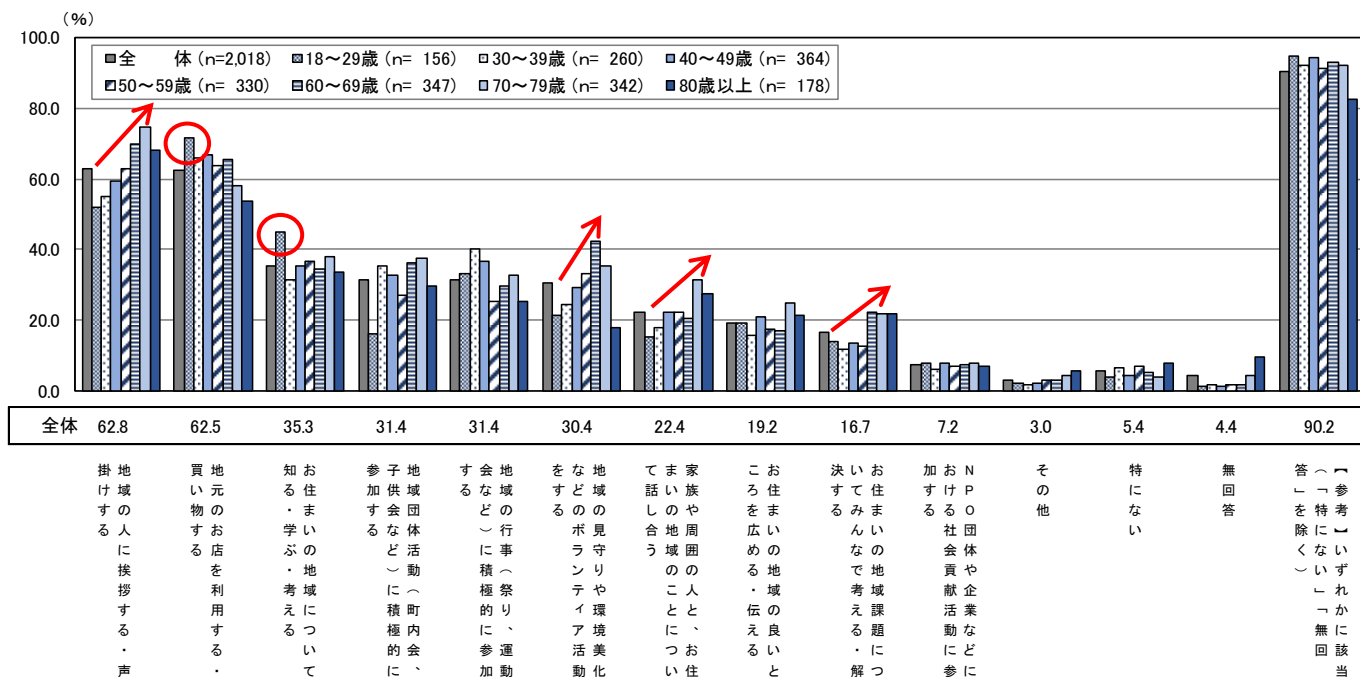
#### ④施策に対する期待×現状評価マップ

- ・横軸を「今後、特に力を入れていくべきと思う施策」、縦軸を「評価度【評価する(計)－評価しない(計)】」として施策をマッピングすると、今後の取り組みに対する期待が高くかつ現状評価度が低い施策としては「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」が位置しており、昨年度より力を入れるべき方向へと推移している。
- ・同様に、「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」や「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」も平均より現状評価度が低く、期待度は高い。



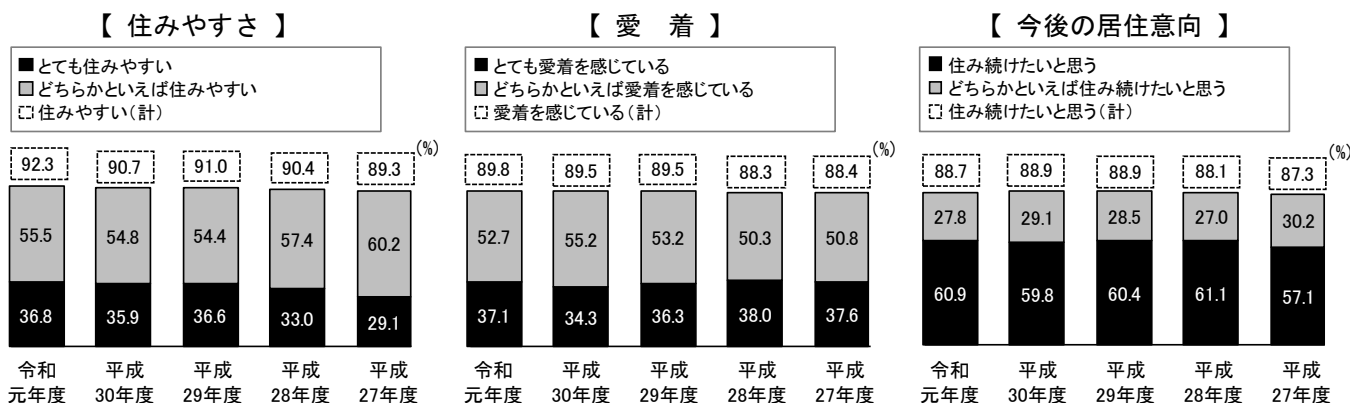
## (2) 地域をより良くするために自分ができること

- ・全体では、「地域の人に挨拶する・声掛けする」(62.8%)と「地元のお店を利用する・買い物をする」(62.5%)が多い。
- ・年齢層別では、「地域の人に挨拶する・声掛けする」「ボランティア活動」「地域のことで話合う」などは年代が高いほど多い傾向がみられる。一方、「地元のお店を利用する・買い物をする」「お住まいの地域について知る・学ぶ・考える」は18~29歳で高い。
- ・「地域をより良くするために自分ができること」のいずれかに該当する人は、80代以上を除いた年代で9割以上となった。地域をより良くするためのアクションに繋がる市民のポテンシャルの高さがうかがえる。



## (3) 仙台市における住みやすさなど

- ①仙台市の住みやすさ「とても住みやすい+どちらかといえば住みやすい」(以下「住みやすい(計)」)
  - ・「住みやすい(計)」の割合は、過去5年間で最も高い(92.3%)。
- ②仙台市への愛着「とても愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている」(以下「愛着を感じている(計)」)
  - ・「愛着を感じている(計)」の割合は、過去5年間で最も高い(89.8%)。
- ③今後の仙台市への居住意向「住み続けたいと思う+どちらかといえば住み続けたいと思う」
  - ・「住み続けたいと思う(計)」の割合は88.7%と、引き続き高い水準である。



### 令和元年度 施策目標に関する市民意識調査報告書(概要版)

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課  
 〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号 TEL 022-214-1268